

# ゆめちき通信

## 241号

6月20日現在  
 子ども会員：127人  
 正会員：41人  
 賛助会員：240人  
 27団体



### めおと楽団

# ジキジキ



しりたがり.....02  
 おとな塾.....03  
 特集～めおと楽団ジキジキ～.....04～05

Harbor Salon.....06  
 ティーンズ+.....07  
 わいわいアカデミー.....08



# やまもと かずこの

## 知りたがりやトーク

梅雨に入り、はっきりしない天気が続いて、なんとなく心も晴れない今日この頃ですが、みなさんいかがお過ごしですか？今回は、つい最近のいい出会いを2つ紹介したいと思います。

その一つは、先月号で、大学生がおすすめしてくれていた『生きる Living』を見逃して、残念に思っていたタイミングで、出会った映画『怪物』。カンヌ国際映画祭で脚本賞とクィア・パルム賞の2冠を達成、「怪物だーれだ」と連呼する少年の声が印象的な本作は、観る者にさまざまなことを連想させます。怪物ときくと、恐ろしい奴、でっかい奴をイメージしがちですが、違う意味で怖かったかも。映画を全編観終わった時には、自分が思ったことを吐き出さずにはいられない、誰かと共有しなきゃあという使命感のような思いに駆られ、自分のスマホに、

『怪物』って誰？

いじめっ子？

虐待している親？

学校の隠ぺい体質？

シングルマザーに対する偏見？

ちゃんと話を聞かない大人？

事なかれ主義？

放置されているものたち？

思い込み？

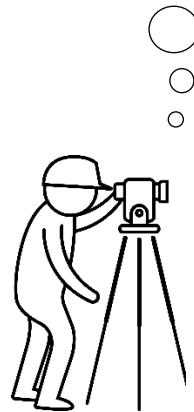
他を認めない、エゴイズム？

結局『怪物』は自分の中にある。

些細な日常の中に潜んでいる。

と、メモ書きしていました。

今でも後から後から、いろんな思いがこみ上げてきます。気づかずにほったらかしにしていること、見ないようにしていること、言いすぎてしまったなあってこと、もしかしたら、誰かを好きになったり嫌いになったりすることさえも、度を越えてしまうと『怪物』になってしまうのかもしれない。あげ



つらうときりがありませんが、自分の中にもたくさんの『怪物』が住んでいます(苦笑) たくさん子どもたち、子どもに関わる大人たちに是非会って欲しい作品です。

もう一つの出会いは、素敵な景色と24歳のカメラマン。そもそもは、私より会員歴の長いメンバーの一人が新車に換えたということで、チーム「ポケモンGO」でドライブに行くことに。当初は出雲大社の予定でしたが「彼女出来たから、縁結びじゃなくていいよ！」との報告をうけ、行き先を角島に変更。というのも、角島は、行った人がみんな口を揃えて「めっちゃ綺麗！」と感嘆するくらいの絶景。そりゃあ、デートの下見にもなる！と当日まではそのつもりでしたが、出発時刻があまりに遅かったため、さらに変更、津和野を目指すことにしました。途中、あっちこっちの道の駅に寄り道、結局着いたのは15時前。まずは、街並みを散策。菖蒲が咲いていて、いい時期に来た！とひとまず満足。お茶して、しばらく歩いていたら、三脚つきの立派なカメラを抱えたさわやかな青年と遭遇。その彼、そもそもは富士山の写真を撮ってはInstagramにあげていたらしい。写真を数枚見せてもらい、互いにInstagramをフォロー。毎週綺麗な花をUPしてくれる若いインスタ友達ができ、インスタを観るのが楽しみになりました。





歩くことは日常の中でありふれた動作。だからこそ、意識的に歩くというのはかえって難しいもの。今回は2回目のポストチュア・ウォーキングでしたが、つくづくそれを実感

しました……！やはり定期的にご指導頂かないといけないようです。

講座では、ウォーキングの前に準備体操と姿勢の確認がありました。関節を動かしたり、背中の油を搾ったり(笑)私は猫背巻き肩のようで、首・肩回りがバキバキでした。姿勢も壁から背中が浮いてしまい、反り腰がひどくなっていることも判明。歩く前から前途多難です。肩を後ろに回して脱力、腰を立てることを意識して何度も姿勢を正しました。

そしてついにウォーキング練習へ！一度ご指導



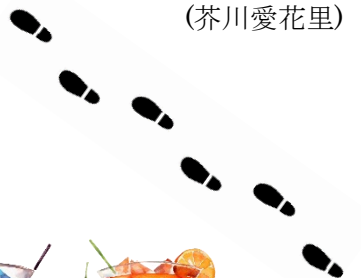
講師：佐藤泉さん  
(一般ポストチュアウォーキング協会 認定講師)

頂いたものの、改めて教えて頂いた通りを意識してきちんと歩くとかなり足が疲れます。いかに習ったことを私生活の中で実践できていなかったかが分かりました。かかとから前に出した足としっかり伸ばした後ろ足で三角をつくる、目線はいつもより高めに…始めはふらふらしていましたが、慣れるとグングン歩けるように感じました。他の参加者の方も練習前と比べてまっすぐな姿勢で歩けるように…！あとはこれを日常生活でも維持するのみです。

ひとしきり歩いた後は手ぬぐい体操も教えて頂

きました。端を両手で持って上に上げるとまた肩に痛みが。ウエストが細くなると聞いて「毎日やろう！」と去年も思って今の今まで忘れていたことを思い出しました(笑)今年こそは続けます！

(芥川愛花里)



Nextおとな塾

カクテル講座 入門編

～カクテルを楽しむ！～

講師：堀越学さん(Shot Bar Bit マスター)



【日 時】7月12日(水)19:30～

【場 所】Shot Bar Bit

【参加費】1800円

※事前にお申込みください。





音曲漫才のジキジキ。いつもは寄席に出演されているそう。ということで会場づくりを寄席風に！ステージのバックは千鳥格子に紅白提灯を飾り、めくりを置いた。客席も、シート席・小椅子席・大椅子席と工夫。「はっぴ」を着たもぎりの子ども達もやる気満々で元気にお出迎え。

ギターのキヨシさんとヴォーカル&鍵盤ハーモニカのカオルコさんの心弾むメロディで、始まり、始まり～！

最初の曲の「へい！」のかけ声に、会場はバラリとしか手が上がらず…。が、続く♪ミミズだ～って、オケラだ～って♪と、子どもから大人まで知ってる曲ではカンタンな振り付けで段々ノってきた！

「今日はみなさんラッキーですよ、昨日ジャズの本場アメリカのニューオリンズから、新しく楽器を取り寄せました」とキヨシさん。どんな楽器かと、興味津々で見ていると、手にはお椀と茶碗。「パーカッションで『ショッキー』って売ってます」に、笑いが起こる。♪オーワンダーセイ～♪茶碗出せい～♪と2人が歌い出すと、会場は大爆笑！

次々と繰り出される笑いの楽曲。「誰にでも覚え



られる」シリーズでは「♪チャンチャ～カ、チャチャンカ、チャンチャン♪あら、よっと(ヨット)」と船の歌。歯医者さんの歌では「はぁ(歯)どうした？」ぶ

しょうひげの歌「あ、そ～れ(剃れ)」などなど。子ども達は家に帰ってからも、ずーっと歌っていたとか。







お次はロッカーキョシさんの神技ギターがさく裂。ベンチャーズの曲に聞き入り、ビートルズのミッシェルの前奏にうっとりして歌おうと思ったら、ミッシェルのコードのまま、始まったのはゲゲゲの鬼太郎！続くレットイットビーとなごり雪もそれぞれの曲を歌いながらハモってる～！場内は感嘆の拍手喝采！！

そして、いよいよ鍵盤ハーモニカ登場！さすが武蔵野音大出！流れるような指使いの「トルコ行進曲」の後、YouTubeで観て待ちに待った「デコ弾き」。どうやって弾いてるんだろう？と思ってたけど、生

で見てもどうなってるのか全然わからなかった💦おでこもフツのおでこだったし！でもちゃんとおでこで弾いてる。不思議！不思議！スゴイ！

アンコールの曲ではいきなりハタキを渡され「ハタキーズ」結成。スカウトに驚く大人も、すぐにノリノリ、会場内を練り歩く。子どもたちも一緒に歩きたそう！！

終演後に会場を出る人たちはみんな満足そうでした。

今回は昼夜2回公演。大爆笑は変わらなかったけど、夜、カオルコさんは衣装を着替え、ちょっと違う雰囲気。最後はハタキーズの後、八丈島で知り合ったお二人の思い出の曲。しっとりとしたメロディと透き通る歌声にとっても幸せな気分になりました。

(しるこ)

## 会場アンケートより

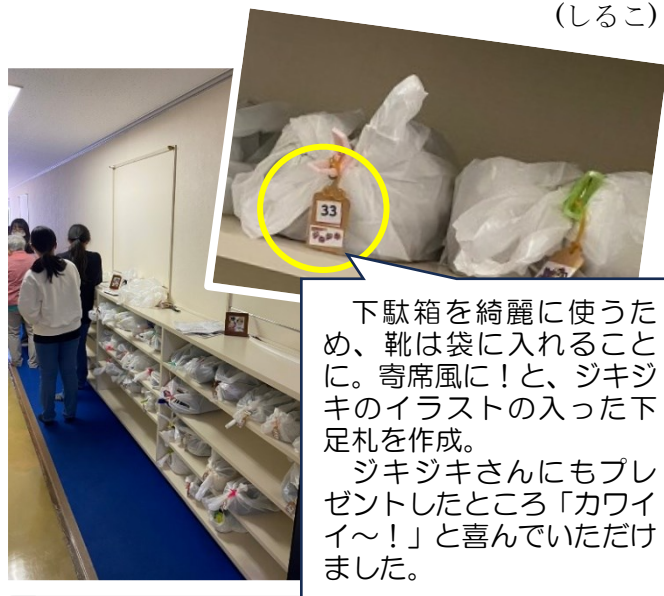


ダジャレがおもしろかったです。キョシのギター良かったです。ビートルズ最後まで聞きたかったです。おでこの鍵盤ハーモニカ、どうなってるのか不思議です。スゴイ！！ (40代女性)

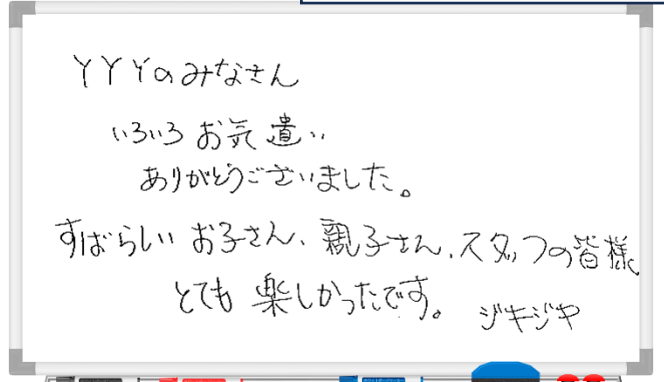
“こんなに楽しい”と思っていなかったの、来て良かったです。飽きさせない(テンポ良し、声良し、楽器良し)お二人でした。帰る時には心が晴れ晴れ！！ありがとう！！ (60代男性)

カオルコさんの声がとてもキレイで、聴き惚れました。特に、アンコールの最後の曲は、ひきこまれて涙が出ました。ベテランの芸人さんは、さすがだなあと心から感動しました。 (50代女性)

とても感じがいい人で、とても楽しかった。船の歌がシンプルだったけど、楽しかった。 (小学生)



下駄箱を綺麗に使うため、靴は袋に入れることに。寄席風に！と、ジキジキのイラストの入った下駄札を作成。ジキジキさんにもプレゼントしたところ「カワイイ～！」と喜んでいただきました。



＼＼＼のみなさん  
いろいろお気遣い  
ありがとうございました。  
すばらしいお子さん、親子さん、スタッフの皆様  
とても楽しかったです。ジキジキ



## 第13回 Harbor Salon



# ハワイ中継 Aloha!

アロハ〜！ なつさんの話を聞いて、すっかりハワイ気分の美月です。

今回のハーバーサロンは、ハワイに留学中の「なつさん」と Zoom でつながる、題して「ハワイ中継」。現地で感じたこと、学んだこと、経験したこと…たくさんのかたを話してもらいました。

まずは、ハワイの人々や生活について。ハワイに住んでいる人の70%は移住者で、自らを純血のハワイアンだという人は、10%ほどだそうです。

最も印象的だったのは、日本にいる私たちが考える「ハワイ」のイメージと現地で見る「ハワイ」には大きなギャップがありそうだなってこと。人口構成もその一つですが、ハワイが抱える問題についても大いに考えさせられました。

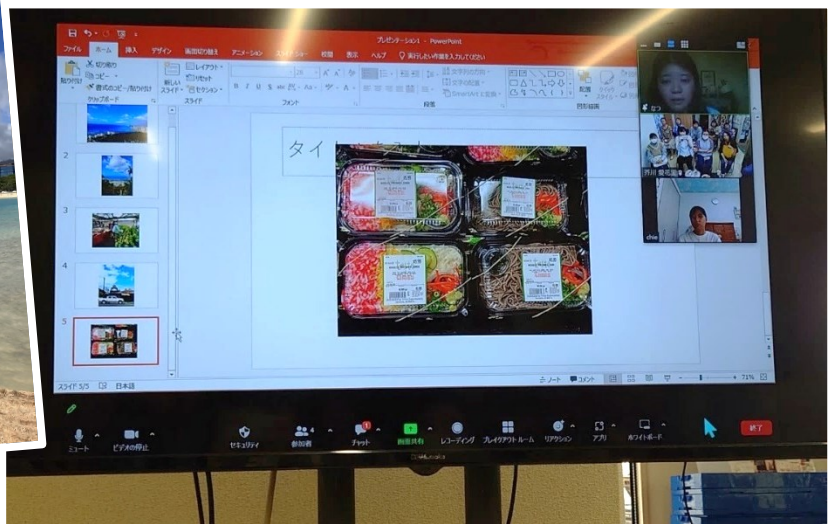
その一番の問題は、ホームレスが増え続けていること。「いろいろな人が集まっている」ことで、「自分とは違う」人々や言語に慣れていて、親切な人が多いハワイ。一方で、治安が良くないせいか、子どもたちは（もちろん留学生も）、「知らない人と話してはいけない」と教わるそうです。それを聞いて、これは、グローバル化が進む日本でも起きているこ

となのでは、と思いました。

また、「ハワイアンフード」と言われて想像する食べ物のは多くは移住者が持ち込んだものであること、「真珠湾攻撃」は真珠湾だけが被害にあったのではないこと、まだ電車が通っていないこと（2023年6月29日 開通予定）など、初めて知るハワイ情報に、私たちがテレビやネットで見ている世界は、ほんの一部分であるということを感じました。

さまざまなニュースが飛び交っている今、自分に都合の良い情報だけを信じたり、逆にマイナスな情報に振り回され過ぎたりしないよう、多角的にものごとを捉えることが大事だと感じました。

すっかりハワイに染まって日本語力が若干低下していた？なつさんですが、「なつぶし」は健在で安心。無事に帰還して、もっとたくさん土産話を聞くのを楽しみに待っています。（みづき）





ティーンズ **plus**

ないちゃーしまんちゅの

# Campus Life



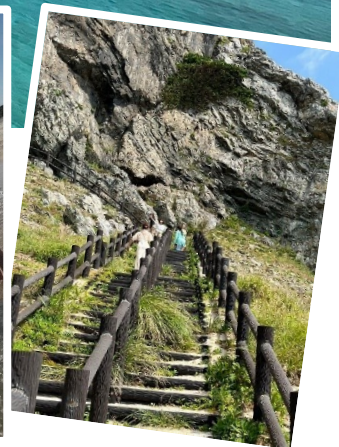
はいたい！

沖縄で看護学生をしてる miku です！

ほとんどの教養科目の履修が1年次で終わり、看護学科の2年次では、本格的に看護の学習がスタート！私たちの代からカリキュラムが変わり、授業数が増加したのに単位数は変化なしという謎のバグが笑。基本的に月曜日から木曜日までは午前中から6限まで講義があり、終わるのは19時45分…。看護実技では、1年生とは違い自分たちで実技を教えあうジグゾー法学習。ゼミごとに各内容を担当し、パワーポイントを用いて講義を作り上げる科目もあります。そのため、講義が早く終わろうと空きコマがあろうと、ゼミ活動や実技練習がいっぱい、とにかく時間がない！

でもせっかく沖縄にいるのに、籠ってばかりはいられない！ということで、GW中に一泊二日で、伊平屋島という北部の離島にプチバカンスに行ってきました。伊平屋島出身の友達がいる、その子がGWに帰省する時に、ついていっちゃいました♪

瀬戸内海とは違い、沖縄の海はエメラルドグリーンで透明感があり、波も荒い。天候にも恵まれて、



沖縄に来て最もいい状態で海を見ることができました！綺麗な海に興奮が抑えられず、写真を大量に撮り、泳ぐ予定はなかったのに、海へ笑。友達の実家に泊めさせていただき、夕食にバーベキュー、朝食もいただくという、なんとも至れり尽くせり💡

伊平屋島は海と星が綺麗なことで有名なので、1日目の夜に、星を見に真っ暗な場所を訪れましたが、月が明るすぎて星が見えませんでした。残念💧

2日目には車で島を回りながら、観光名所であるクマヤ洞窟と念頭平松を訪れました！そしてお昼には、もう一人の伊平屋島出身の友達のお父さんがしている沖縄そば屋に行きました！みんなは沖縄そばを食べましたが、私は名前につられて「ちゅー

か飯」を食べました！沖縄そばの優しいだしとご飯や具材がマッチして最高でした😊

毎日大変ですが、看護学科やボランティア活動の学生団体のみんなと協力して何とか生きています笑







わいわいアカデミー

キャンプ行こうね!

下見 in 野呂山



ジャーン! お泊りキャンプやりますよ  
だから野呂山へ下見行きます〜、と声出すと猪料理あるよ、との情報が。「下見ついでに食べようやあ〜」とライングループで声掛けると「行きます!」と返事が集まる。都合がつかなかった人からも「行きたかった〜」の声。

さあ当日! 猪ラーメン、丼、ハンバーグがテーブルへ運ばれて来るとインスタ映えの写真講座が始まり、れんげや箸、麺のすくい方など、後ろへ回って手とり足取り教えてくれる。「なんか、二人羽織しようみたいなねえ、面白いわあ」と横から大笑い。マップを片手にビジターセンターから下見スタート! スタッフとして確認しておかないといけないこと。トイレ、シャワー室、テントなどなど。位置確認だけじゃないよお。例えばトイレなら和式洋式それぞれ何個? 水流れるか。シャワー室は何分何円? 男女別? 電気はどの辺へつく? などキャンプ当日参加者に案内できるようメモメモメモメモ。

調理場もカマド何個、配置は? 調理台の高さ、水道は何か所? するとお父さんが「配置書きます〜」と手を上げ、さらに5年生女子も「私も!」と。

途中、道沿いの草むらへ赤い宝石みたいな野イチゴみつけ。「野イチゴじゃ〜」「どこどこ?」「蛇イチゴじゃない?」「甘い、おいしい」「大きいのあるよお」とみんな必死!

星降る展望台から眺めた外界は静まり返って日々のごちゃごちゃなんかなかったような感じ。横におった人と「そうよねえ、小さいことよねえ、どうでもええことばかりよねえ」と話して大笑い。他県出身の人が、「海がこんなに波ないなんてびっくりするわ」「金比羅山が悪天候から呉を守ってくれとるよねえ、ええとこよねえ、呉は」と話す。

ビジターセンターへ戻ってキャンプでやりたいことを出し合った。ファイヤー、花火、シャボン玉、宝さがし…ふせんに書いたそばから「それ、いいね〜!」の声。みんなの心はすでにお泊りキャンプへ



ワーブ! ワクワク空気で満たされていた。

面白おかしく自然を満喫、確認事項もきっちりやった下見でした。

スタッフだから体験できること、味わいたくなっただしょ、一緒にやろうや!

(キャサリン)



■発行日:2023年6月25日(毎月1回発行) ■発行責任者:米本美千恵  
■発行元:特定非営利活動法人 呉こどもNPOセンターYYY 〒737-0051 呉市中央3丁目 11-12PANビル3F  
■連絡:0823-24-5646 ■WEB:<http://kure-yyy.org>